

琴似屯田歴史館資料室

かつて琴似に入植した屯田兵を中心とする人々の歴史を伝えるため、NPO法人札幌郷土文化推進センターが運営する、平成7年に設置された資料室です。

開拓当時の写真や、実際に屯田兵が使用していた装備品や農機具、生活用具などの多様な資料を展示しています。

- ①さまざまな資料が展示されている室内。
- ②森林での伐採作業などに使われていた道具類。
- ③屯田兵の軍服（右は実際に使用されていたもの。左はレプリカ）。
- ④かつての屯田兵村の風景などの写真も展示。



札幌郷土文化推進センター専務理事 こいずみ たけよし 小泉 武義さん

当資料室には、農機具を手に大地を耕していた入植者としての顔や、武器を持って戦う兵士としての顔など、屯田兵のさまざまな姿を伝える資料がありますので、どうぞご覧ください。また、当資料室では屯田兵ゆかりの品々を集めております。そのような物をお持ちで、寄贈してもよいという方がいらっしゃいましたら、ぜひご連絡ください。

三戸部記念館

屯田兵として入植した三戸部勘吉から数えて3代目の故三戸部清一さんが、昭和49年に私財を投じて自宅敷地内に建てた私設記念館です。建物内には開拓時代から近年まで使用されていた農機具や生活用具など約2千点が展示されています。現在は4代目の三戸部清美さんが同記念館を守り、地元の小学生らに公開するなど歴史を伝えていきます。

三戸部記念館管理者 みとべ きよみ 三戸部 清美さん

展示品の多くは、三戸部家で実際に使っていた物や、近隣の方から好意で寄せていただいた物です。普段の生活で使っていた調理道具などの日用品も多く、当時の生活ぶりがうかがえるのではないかと思います。私有施設のため、雪が深く積もる時期は休館としておりますが、雪が解けましたらぜひ一度、足をお運びください。



①同館内部。主に左側には農機具、右側には日用品などの生活用具が置かれている。
②故清一さんが敷地内に建てた屯田兵移住の記念碑。
③さまざまな農機具が並んだ館内。
④熱源に炭を使用していた昔のアイロン。

